

大会 第2日(講評と展望)

● ピン級

昨日の競技はありません。本日の好カードとして4冠が掛かる荒竹(鹿児島)が、1年生ながら中国王者となった強敵 元山(岡山)の挑戦を受ける。他にもシード選手である地元の田端(宮崎)、1回戦を素晴らしい戦いで勝ち上がった尾崎(大阪)の戦いも注目される。

● ライトフライ級

第1シードの高見(東京)は開始ゴングと同時に華麗なステップと絶妙な距離感で上野(熊本)を翻弄し、的確にヒットを重ね3Rに相手コーナーからタオルが入りABD勝ち。川本(宮崎)も地元応援を背に1Rで勝負を決めた。北信越チャンピオンの河上(新潟)は弓削(大分)と対戦し、僅差の判定で弓削が勝利した。近畿ブロック対決は、青山(大阪)が勝利し、第3、4シードの吉良(奈良)、登本(香川)は順当に勝利し次戦に駒を進めた。第2シードの岩淵(青森)と寺田(佐賀)の対戦は、激闘の末、寺田が勝利し喜びをかみしめていた。

● フライ級

シード選手は順当に勝ち上がった。平塚(栃木)はスピーディーな動きからパンチをヒットさせたが、相手の松土(千葉)も終盤に追い上げ接戦となる。最後は平岡が3-2で逃げ切った。地元の川野(宮崎)の素早い攻撃に対して立木(福井)もボディからパンチをまとめ攻勢に出た。互いにダウンを奪い合う好試合となったが判定は川野に上がった。藤田(神奈川)は相手の変則的な動きに惑わされることなく右のカウンターでKOした。花田(埼玉)は足を使いながらチャンスを伺い、要所にパンチをまとめて完勝した。前日にパワフルな攻撃が目立った横山(大阪)は、この日も強い右をヒットさせ1Rで試合を終わらせた。サウスポー入田(熊本)は、長身から繰り出すスタイリッシュなボクシングを見せ完勝した。

● バンタム級

選抜王者の松本(愛媛)と前試合RSC勝ちで勢いに乗っている万井(兵庫)が対戦し、松本が上下に打ち分ける右ストレートを巧みに使い、ポイントを重ね勝利した。北信越チャンピオンの高(石川)も順当に勝ち進み、本日選抜大会のリベンジに燃えている。第3、4シードが敗れる波乱の展開となった。第4シードの江崎(熊本)は蟻浪(福島)の粘りに屈し、第3シードの茂木(千葉)は原田(福岡)に惜敗した。第2シードの橋本(岐阜)は長身の長尾(神奈川)に序盤は距離を取られていたように見えたが、徐々にプレッシャーをかけて前進し、2Rに右ボディ連打で勝負を決めた。

● ライト級

堤(千葉)は安定感のあるボクシングで勝利し、本日は同じ関東の染谷との好ファイトに期待がかかる。第2シードの川上(北海道)も長いリーチを巧みに使い、相手の隙に鋭く左ストレートを合わせ勝利した。祝(福岡)対宮原(佐賀)の九州勢対決。祝の渾身の右ストレートをヒットさせる

も、宮原も長いリーチをいかし、カウンターを浴びせる。3R終了まで両者の攻防に、観客も大いに沸いた。結果は祝が僅差の判定勝ちをした。上野(熊本)、藤原(大阪)らもRSC勝ちして、本日の3回戦で両者が顔を合わせる。

● ライトウェルター級

3人のチャンピオンが揃う階級である。前年覇者の由良(奈良)が伏兵の森脇(東京)に屈した。由良は力強いパンチで前に出るが振りが大きく、逆に長身のサウスポー森脇のパンチが僅かに勝った。選抜王者の田中(神奈川)は徐々に距離を詰めると左右のフックで圧倒し1Rで試合を終わらせた。高橋(千葉)に対して榎野(京都)も飛び込みながらパンチをヒットさせたが、国体覇者でもある高橋のパンチが光り勝利した。ブロック王者同士の戦いは体を振って懐に飛び込もうとする菅原(岩手)であったが、脇田(宮崎)が距離を取り左右に動いて徐々にペースを握り勝利した。

● ウェルター級

永野(宮崎)は、地元の大声援を背に受け、果敢にパンチを繰り出して勝利した。山本(熊本)は、牧口(香川)にリズムをつかませず、スピードのある攻撃でRSC勝ちを収めた。今村(岐阜)、梁(大阪)もRSC勝ちして3回戦に進出した。シード選手は明日からの登場となるが、実力拮抗と言えるこの階級、ワンパンチで形勢が逆転もありうる重量級の試合にご期待ください。

● ミドル級

昨日の競技はありません。本日からシード選手の登場である。仲野(奈良)や黒部(北海道)を中心とした重量級らしい迫力のある試合が期待される。

監督、選手、観客者へのお願い

会場は土足厳禁となっています。下足の使用はご遠慮ください。

ゴミは分別収集をしています。館内の美化にご協力をお願いします。

このニュースはネット配信されています。

下記のQRコードをご活用ください。
検索キーワード → 高体連ボクシング

